

恵庭岳の火山活動解説資料（平成 22 年 2 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・ 火口や噴気の状況（図 1～3）

15 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。山頂東側の爆裂火口内の地熱域及び噴気の状況は、これまでの観測結果と比べて特段の変化はありませんでした。

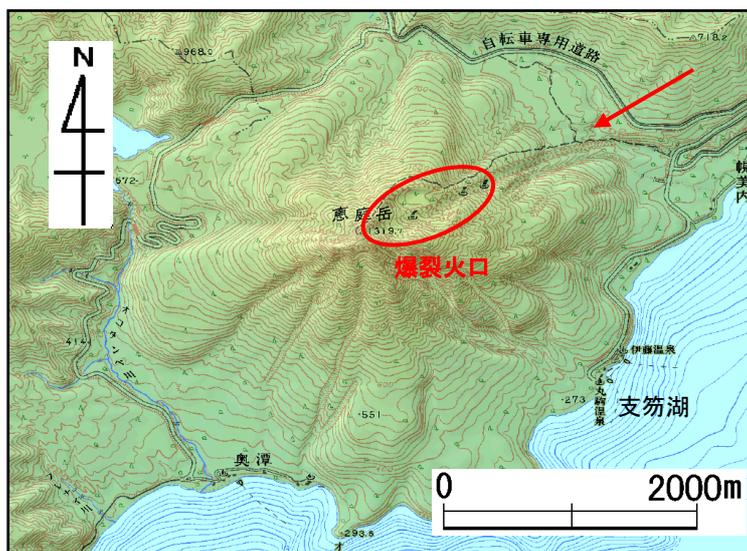


図 1 恵庭岳 周辺図

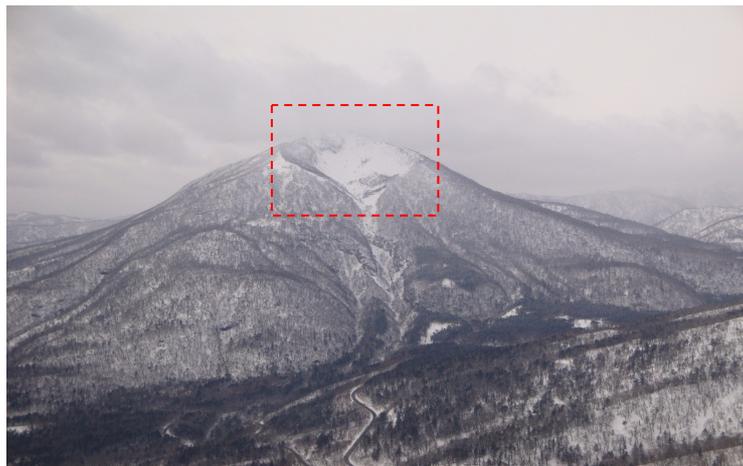


図 2 恵庭岳 東側の爆裂火口の状況

（2月15日 図1の矢印方向上空より撮影、北海道開発局の協力による）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50000（地図画像）』を使用しています。（承認番号 平 20 業使、第 385 号）



図3 恵庭岳 東側の爆裂火口の状況
(図2の赤枠の範囲 2月15日撮影、北海道開発局の協力による)

- ・ 山頂東側の爆裂火口内ではこれまで観測されていた地熱域に対応した2ヶ所の融雪域が認められ、上部の地熱域からは弱い白色の噴気が認められました。地熱域及び噴気の状況は、これまでの観測結果と比べて特段の変化はありませんでした。

参考 2007年11月13日に撮影した恵庭岳の東側爆裂火口内の地熱域の状況

07/11/13
09:46:00

